

ねんりんピック・国民文化祭公式ルール(略式)

- 1 東南回しの半荘戦4回戦を各50分で行う。局の成立は親の配牌の完了時である。
対局卓・座位は、受付時のくじに記載しており、2回戦以降は「個人対戦表」を配ります。
- 2 持ち点 30000 点 持ちの順位点加減法。順位点、得点記入表は後記(29)による。
- 3 カイメン[開門]は1度振りで行う。
- 4 食いタンありの後付けあり。
- 5 食いかえなし。
- 6 空ポン、空チーの場合、罰符1000 点を場に供託することでゲーム続行とする。
- 7 ワンパイ[王牌]は常に14 枚残し。
- 8 表ドラ、裏ドラ、カンドラ(カン成立時に即時公開)、カン裏ドラあり。
- 9 ピンフツモは20 符、チートイツは25 符2翻、両面順子のみの食いピンフ形は30 符で計算する。
- 10 リーチ後の一発役あり。
- 11 リーチ後は、牌姿が変わらぬ限り、暗カンしてもよい。
「牌姿が変わる」とは、待ち形・手役・順子・雀頭が変わることを指す。してはいけないカンをした場合、手牌開示時にチョンボ扱いとなる。
- 12 リーチ後見逃しを含め、フリテンリーチを認める(ツモアガリのみ有効)。
- 13 ノーテンリーチは、手牌開示時にチョンボ扱いとなる。ただし、アガリがあればアガリが優先。
- 14 形式テンパイを認める。ただし、待ち牌の全てを自分の門前牌で使っている場合は除く。
※ “中” を4 枚持っていて、“中中” と “中中” のシャボ待ちは不可。
- 15 アガリ者は、常に一人(複数人による同時アガリの場合は頭ハネ)。
- 16 30 符4翻(60 符3翻)は、切り上げ満貫[子8000 点、親 12000 点]とする。
6翻でハネ満、8翻で倍満、11 翻以上で3倍満とする。役満は4倍満(ダブル役満なし)。
- 17 ノーテン罰符は場に3000 点。連荘は1本場につき300 点。
- 18 テンパイ連荘(親がノーテンの場合は全て親流れ)。
またオラス時、親のノーテンで半荘終了の場合、供託点はトツ取りとする。
- 19 途中流局(九種九牌倒牌・四風子連打・四人リーチ・四カン流れ等)なし。
- 20 役満のバオ(責任払い)は、大三元の3組目、大四喜の4組目をポン又はカンさせた者に適用する。
ツモアガリの場合は全点数を、振込の場合は放銃者と折半で払う。積み場は放銃者の支払いとする。
- 21 役満の特例はない。
ア 暗カンに対する国士無双のアガリを認めない。
イ 国士無双13面待ちの際の、フリテンロンアガリを認めない。
- 22 旧役を使用しない。
(人和、流し満貫、十三不塔、三連刻、カン振り、二翻しぼり等)
- 23 アガリ放棄となる場合は、発声を伴うすべてのプレーができず、ノーテン扱いとなる。
多牌・少牌、ツモ場所を間違えた時、倒牌前の誤ロン・誤ツモ、甚だしい先ヅモ、誤ポン・誤チー、
審判長がアガリ放棄を宣言した時。
※リーチ中にアガリ放棄となった場合は、流局後チョンボ(ノーテンリーチ)となる。
- 24 赤牌はドラ扱いとしない。
- 25 チョンボとなる場合は、他の3人に 3000 点ずつ支払う。その局はやり直しとする。
倒牌した誤ロン・誤ツモ、競技規定11・13、ゲームの続行を不可能にした時。
その局に発生したリーチ棒はリーチ者に返す。ただし、前局の供託棒があればそのままとする。
また、チョンボ者が複数の場合、全て罰を受ける。
- 26 アガリとチョンボが同時に発生した場合は、アガリを優先し、チョンボは免除される。
- 27 点棒がなくなった場合は、他の人に借りてそのまま続行する。
- 28 得点記入は、持ち点をそのまま記入のこと。
- 29 順位点は以下(加減法)の通りで、30,000点以上を浮きとする。同順位の場合は、順位点を折半する。

	1位	2位	3位	4位
1人浮き	+12,000点	▲2,000点	▲4,000点	▲6,000点
2人浮き	+8,000点	+4,000点	▲4,000点	▲8,000点
3人浮き	+6,000点	+4,000点	+2,000点	▲12,000点

ねんりんピック・国民文化祭公式ルール(略式)

競技マナー20カ条

- 1 対局に際しては、「自分に厳しく、人に優しく」を心がけましょう。
- 2 お仲間に不快感を与えないよう、身だしなみに気を配り、正しい姿勢を心がけましょう。
- 3 卓にひじを置いたり、足組みは慎みましょう。
- 4 指輪など尖ったものは、できるだけ避けましょう。
- 5 ゲーム開始時に「お願いします」、ゲーム終了時には「ありがとうございました」と挨拶しましょう。
- 6 牌がセットされたら、相手がつもりやすいに牌山を右斜め前に出してあげましょう。
- 7 牌山に「切り込み」を入れるのは、やめましょう。
- 8 配牌終了後、開門位置の人はリンシャン牌が崩れないよう下段に下ろし、そのあとドラをめくりましょう。
- 9 「待たせない」こと。「牌の強打」は厳に慎み、捨牌は「6枚切り」にしましょう。
- 10 「リーチ」「ポン」「チー」「カン」「ツモ」「ロン」等は明確に発声し、その後動作に移りましょう。
- 11 リーチは、「リーチ発声」、「打牌の横向け」、「リーチ棒の供託」の順序で行い、リーチ棒は所定の場所に丁寧に置きましょう。千点棒がない場合は、置く前に両替してもらいましょう。
- 12 チー、ポンは、「発声」「牌の明示」「牌の取り寄せ」の順序で行い、そのあと打牌しましょう。
- 13 暗カンの時も4枚皆さんに見せてからリンシャン牌をつもりましょう。
- 14 手牌は、伏せないようにしましょう。リーチの時も同じです。
- 15 リーチの後には、はっきりと分かるようにツモ切りましょう。
- 16 アガった時は、牌を相手に見やすく並べてから倒すようにしましょう。
- 17 「裏ドラ」は、表ドラ、カンドラと一緒に並べて、全員に見えるようにしましょう。
- 18 点棒の支払いは、他の人と混同しないよう置き場所を違えて置き、また受け渡しが終わるまでは手牌と牌山を崩さないようにしましょう。
- 19 対局中の「口三味線」や対局相手への批判など言動には細心の注意をはらいましょう。
- 20 また、局終了後の「解説」も慎みましょう。
- 21 対局していない時の立ち見、覗き見等は慎みましょう。
- 22 携帯電話は、マナーモードに設定して、急用以外は使用しないようにしましょう。

